

令和 7 年度第 1 回
川崎市上下水道事業
経営審議委員会

次期上下水道ビジョンの構成について

川崎市上下水道局

*Waterworks and Sewerage Bureau
City of Kawasaki*

説明内容

1 次期上下水道ビジョンの構成

2 事業を取り巻く環境と課題

3 上下水道ビジョンの全体像

参考 上下水道ビジョンのレイアウトイメージ

1 次期上下水道ビジョンの構成

3

現行ビジョン（2017～2025）

第1章 策定の趣旨

- 1 策定の経緯
- 2 対象となる事業
- 3 位置付け

第2章 川崎市の概要及び上下水道のあゆみ

- 1 川崎市の概況
- 2 上下水道のあゆみ

第3章 事業を取り巻く環境と課題

- 1 外部環境
- 2 内部環境

第4章 基本理念と目指すべき将来像

- 1 施策体系
- 2 基本理念
- 3 目指すべき将来像

第5章 基本目標と目標達成のための10年間の方向性

- 1 基本目標
- 2 目標達成のための10年間の方向性

次期ビジョン（2026～2037）案

第1章 上下水道ビジョンとは

- 1 策定趣旨
- 2 対象事業
- 3 位置付け
- 4 計画期間

第2章 川崎市の上下水道

- 1 川崎市の概況
- 2 上下水道のあゆみ

第3章 事業を取り巻く環境と課題

- ~~1 外部環境~~
- ~~2 内部環境~~

第4章 上下水道ビジョンの全体像

- 1 施策体系
- 2 基本理念
- 3 目指すべき将来像
- 4 10年間の方向性

第5章 基本目標と目標達成のための10年間の方向性

- ~~1 基本目標~~
- ~~2 目標達成のための10年間の方向性~~

2 事業を取り巻く環境と課題

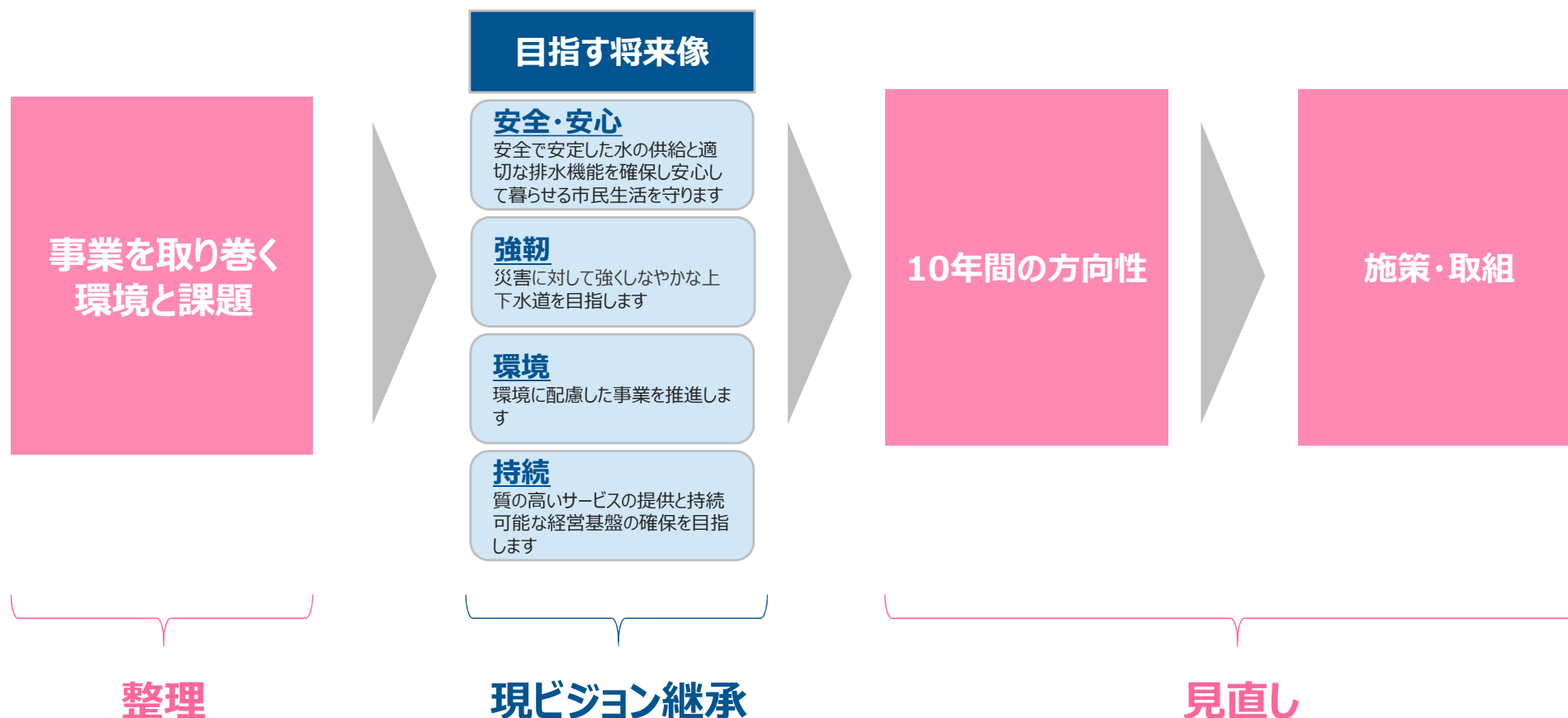
◆近年事業を取り巻く環境が急速に変化してきていることを踏まえ、前回策定時に整理したものから見直しを行います。

事業を取り巻く環境と課題	内容
1 自然災害の脅威	・今後の気候変動による影響（降雨量や洪水流量の増加、河川・海面水位の上昇）等について記載 ・能登半島地震の発生や、「自助・共助」の取組の必要性を記載
2 環境保全	・脱炭素社会の実現に向けた取組の進展について記載 ・下水汚泥の肥料利用の動向を踏まえた取組の必要性を記載
3 世界の水と衛生	・世界の水環境の改善、SDG s 達成に向けた取組の必要性について記載
4 社会のデジタル化の進展	・将来の担い手不足などに対応するため、DX（デジタル技術とデータを活用した市民サービス向上と業務改革）の推進に向けた取組の必要性を記載
5 お客さまの意識や生活環境等の変化	・令和6年度実施の市民意識調査等の結果を記載
6 人口と水需要	・本市の将来人口推計や生産年齢人口の減少について記載 ・水道の長期水需要予測を記載し、工業用水道の需要減少について記載
7 料金等収入の推移	・料金・使用料収入の推移を記載
8 物価の高騰	・限られた予算の中での物価高騰に伴う事業費の増加について記載
9 資産の状況	・管路・管きよ・施設の老朽化の状況などを記載
10 人材確保の困難化	・職員の多い世代が一斉退職することの影響について記載 ・転職への意識変化に伴う退職者の増加について記載 ・自治体の技術・専門職の採用難やインフラ整備やメンテナンス等の民間業者の人手不足について記載

2 事業を取り巻く環境と課題

5

◆現上下水道ビジョン策定以降、物価の高騰や人材確保の困難化など事業を取り巻く環境に変化がありますが、上下水道事業の30年から50年程度先の将来を見据えた、「安全・安心」、「強靱」、「環境」、「持続」に掲げる将来像は普遍であり、次期上下水道ビジョンにおいても、現上下水道ビジョンの将来像を継承していきます。また、将来像を実現するための10年間の方向性及び施策・取組については、事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、内容や表現等を見直していきます。



3 上下水道ビジョンの全体像

6

◆より多くの方に理解してもらえるように、分かりやすさを重視してシンプルな施策体系に見直すことを基本とします。

現行ビジョン（2017～2025）				中期	
基本理念	目指すべき将来像	基本目標	10年間の方向性	施策	取組
健全な水循環により市民の生活を守る 川崎の上下水道	安全安心 安全で安定した水の供給と適切な排水機能を保ち安心して暮らせる市民生活を守ります	基本目標Ⅰ	良質で安全な水の安定供給【安全・安心】	施策（23）	取組（60）
			災害時の機能維持【強靱】		
			水道・工業用水道施設・管路の適切な管理と更新【持続】		
	強靱 災害時においても機能を維持できる強靱な上下水道を目指します	基本目標Ⅱ	水環境・地球環境への配慮【環境】		
			大雨・浸水への備え【安全・安心】		
			災害時の機能維持【強靱】		
	環境 快適な水環境や地球環境に配慮した事業を推進します	基本目標Ⅲ	下水道管きよ・施設の適切な管理と更新【持続】		
			快適で暮らしやすい水環境の創造【環境】		
			地球環境への配慮【環境】		
	持続 質の高いサービスの提供と持続可能な経営基盤の確保を目指します		市民サービスの充実【持続】		
			国際展開の推進【環境】【持続】		
			持続可能な経営基盤の確保【持続】		



次期ビジョン（2026～2037）（案）			中期	
基本理念	目指す将来像	10年間の方向性	施策	取組
健全な水循環により市民の生活を守る	安全安心 安全で安定した水の供給と適切な排水機能を確保し安心して暮らせる市民生活を守ります	安全で良質な水の安定供給	施策（14）	取組（45）
		上下水道施設の適切な管理と更新		
	強靱 災害に対して強くしなやかな上下水道を目指します	災害への備え		
	環境 環境に配慮した事業を推進します	水環境や地球環境への配慮		
		国際事業の推進		
	持続 質の高いサービスの提供と持続可能な経営基盤の確保を目指します	市民サービスの充実		
		持続可能な経営基盤の確保		

第1章 上下水道ビジョンとは

1 策定趣旨

策定に至る経緯等の内容を記載します。

2 位置付け

国の「新水道ビジョン」、「新下水道ビジョン」や、市の総合計画との関係を記載します。



第2章 川崎市の上下水道

1 川崎市の概況

上下水道に関連する川崎市の概況を記載します。

上下水道に関連する川崎市の写真等を掲載します。

2 上下水道のあゆみ

(1)水道事業

川崎の水道事業の歴史を記載します。

イラストや写真等を掲載します。

(以下、工業用水道事業・下水道事業も同様)

第3章 事業を取り巻く環境と課題

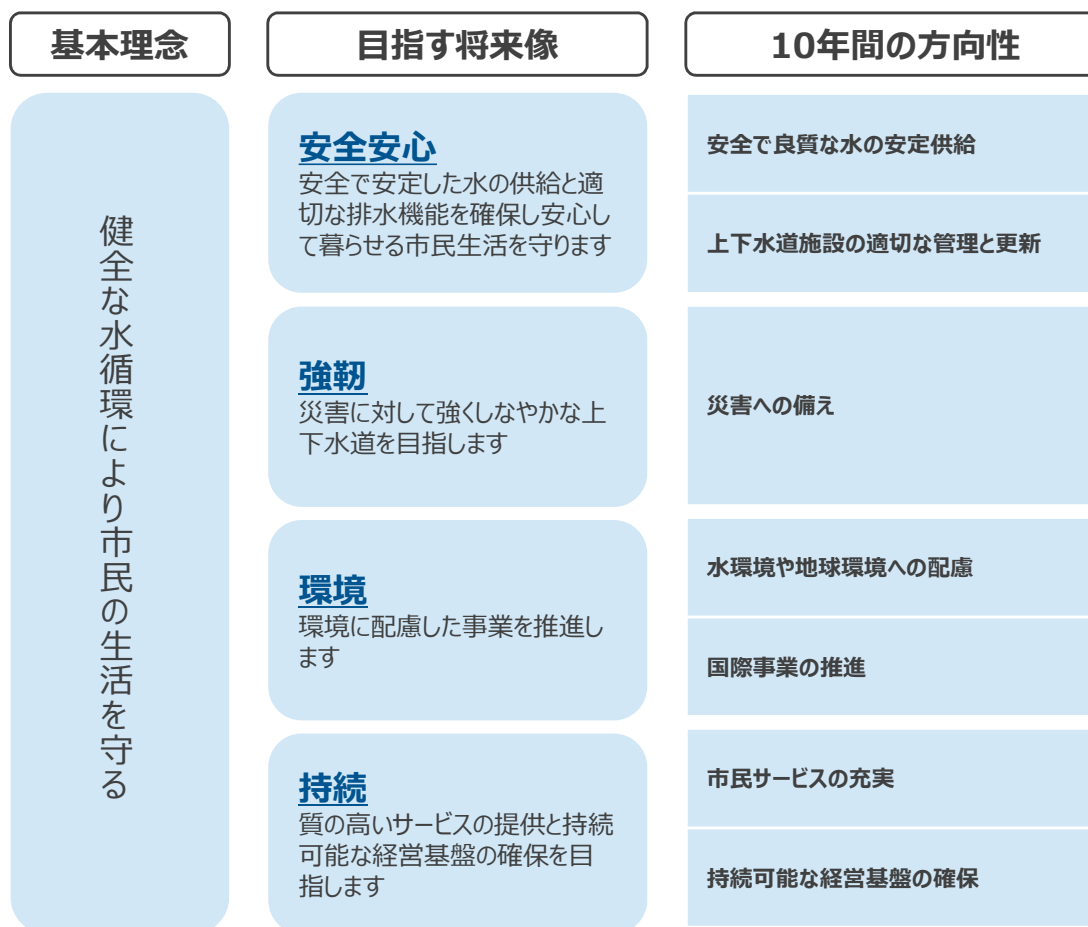
事業を取り巻く環境と課題を1項目(合計10項目)ずつ記載します。

イラストや写真等を掲載します。

(以下、9項目も同様)

第4章 上下水道ビジョンの全体像

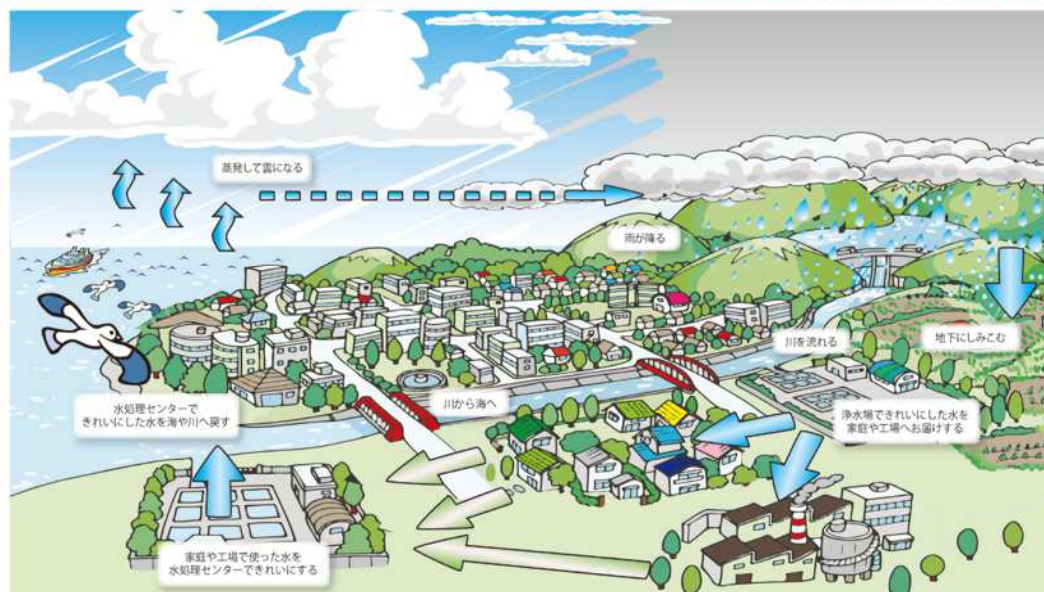
1 施策体系



2 基本理念

健全な水循環により市民の生活を守る

基本理念に関する説明文を、平易な表現で簡潔に記載します。



3 目指す将来像

① 安全・安心

「安全・安心」に関わる将来像について、手段は記載せずに、将来どうなっていたいか、専門用語は使わずに平易な表現で記載します。

(例)いつでも安心して、安全に水が利用できています。

② 強靱

③ 環境

④ 持続

4 10年間の方向性

(1)安全で良質な水の安定供給 手段を簡潔に記載します。	関連するイラスト等を掲載します。
(2)上下水道施設の適切な管理と更新 手段を簡潔に記載します。	関連するイラスト等を掲載します。
(3)災害への備え 手段を簡潔に記載します。	関連するイラスト等を掲載します。
(4)地球環境への配慮 手段を簡潔に記載します。	関連するイラスト等を掲載します。

(以下、3項目も同様)